

令和7年度(2025年度)建設常任委員会管内視察の概要

1 観察日 令和7年(2025年)7月25日(金)

2 観察者 建設常任委員会(8名)

西山宗孝(委員長)、城戸淳(副委員長)、吉永和世、坂田孝志、
楠本千秋、本田雄三、住永栄一郎、斎藤陽子

3 観察の概要

(1) 熊本天草幹線道路宇土道路

本道路は、既存の国道57号の混雑緩和や災害時の代替路確保、地域間連携の強化を目的に国直轄事業で整備が進められており、全線開通すれば熊本市から天草市までの所要時間が大幅に短縮されることが期待されている。

今回の視察では、当該道路の整備状況について、事業者である国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所から説明を受けた。

八代河川国道事務所からは、熊本天草幹線道路の熊本宇土道路については緑川大橋が区間の中心となっており、現在、城塚橋上部工の架設が完了、城塚IC接続部の整備を進めているところである、宇土道路については、平原橋、割井川橋を施工中、宇土三角道路については、用地調査を行っているところであり、詳細な設計を進めているところであるとの説明があった。



(2) (都)南部幹線

本道路は、都市計画道路の1つで、八代市中心部と物流・交通の重要な拠点である八代港と南九州西回り自動車道八代南ICを結ぶ広域的なネットワークの一部を形成する道路である。

今回の視察では、前川に架かる橋梁基礎工事の状況について、県南広域本部から説明を受けた。

県南広域本部からは、今回視察しているI工区については延長965メートル、現在は前川を跨ぐ大規模橋梁の橋脚の建設が本格化しているところ、完成は4車線、幅員30メートル(暫定2車線、14メートル)であるとの説明があった。



(3) 国道219号（八代市内～坂本橋間）

国の直轄権限代行により復旧が進められている国道219号の八代市内～坂本橋間の9.6kmが今年度開通見込みとなっている。

今回の視察では、当該開通見込み区間の復旧状況について、国土交通省九州地方整備局八代復興事務所から説明を受けた。

八代復興事務所からは、権限代行区間は球磨川沿いの両岸道路延長約100キロメートル、橋梁10橋、そのうち八代市内～坂本橋間は延長9.6キロメートルであり、現在、坂本橋上部工工事を行っている、また、令和2年7月豪雨と同規模の洪水に対する家屋の浸水被害を防止するため、河川事業による輪中堤・宅地かさ上げを実施しているとの説明があった。

